

株式会社都村製作所

材料製造プロセス

一般型

新規設備導入によるスケートパーク増産体制の構築事業

2020年に開催される「東京オリンピック」の正式種目に採用されることが決定したスケートボード競技。「若者の居場所づくり」という観点からもスケートパーク建設事業は着実に広がっている。そこで、今後のスケートパーク市場のニーズに対応すべく、生産設備の革新に取り組んだ。



Q 取組の背景 Background of efforts

弊社は明治26年創業以来一貫して、体育器具や公園遊具の製造・販売・施工を業としている。スケートパーク事業は15年以上前より取り組みはじめ、同分野では全国一のシェアを誇る。2020年開催予定の「東京オリンピック」で正式種目に採用されるスケートボード競技。それに伴い、スケートパークの新規設置に関する問い合わせが急増している。しかし、現有設備では効率性、安全性、品質管理の面で課題があるため、新規設備を導入し、増産体制の構築を目指した。

目 事業の実施内容 Implementation content

スケートパーク製品の生産プロセスにおいて、2つの課題があった。1つは加工や塗装の前処理に時間とコストがかかっていたこと。それを解消するため「自動鋼材収納棚/ソリッドストッカー」を導入。また、現状では塗装後は屋内外で自然乾燥をしており、乾燥するまでに長い時間を要していた。そのため、ほこりの付着の問題や色むらなどが課題となっていた。そこ

で、「金庫型熱風循環式乾燥炉」を導入。本事業の取り組みに際し、2種類の機器を新たに導入することで、課題点となっていた箇所の解決にあたった。

目 事業の成果 Achievement

【自動鋼材収納棚/ソリッドストッカー】

限られた工場内のスペースを3次元に有効活用するため、長尺パイプ用の自動鋼材収納棚を設置し、効率的に材料を保管。取り出しから切断場所まで一連の連続した工程で作業ができる上、屋内保管により、サビ等の品質の低下を防ぎ、後工程での前処理作業が大幅に軽減された。

【金庫型熱風循環式乾燥炉】

バッチ式の大型ガス循環乾燥炉を設置し、大型一体製品の乾燥に活用。天候に関係なく約2時間で乾燥できるため、大幅な時間短縮が可能となった。他の大型遊具製品にも同様に活用できるため塗装品質の向上にもつながった。

作業時間の短縮効果は直接的に顧客ニーズを満たすことにもつながる上、製品品質の向上にもつながった。1日も早い施設数の拡充が求められるスケートパーク

市場のニーズに応えることが可能となり、弊社売上の伸長も見込まれ、「付加価値額」、「経常利益」の増大も達成できる。



▲自動鋼材収納棚

▲金庫型熱風循環式乾燥炉

目 今後の展望 Future prospects

今後、スケートボードの競技人口は大幅に増加することが予想される。その競技施設であるスケートパークの新規設置需要も比例して増加する。それに伴い、弊社も市場のリーディングカンパニーとして着実に受注を伸ばすことができるものとする。さらに、高難度系の複雑な形状の需要も生まれてくることが予想されるため、そういった新たな需要を着実に取り込んでいきたいと考える。また、本事業により弊社が強化するスポーツ分野は「日本再興戦略」の中にある、健康産業・ヘルスケアサービスの分野にあり、全国各地の地方自治体に納入することで、地域づくりにも貢献。さらに、製造プロセスが確信されることで、製品の品質向上、競争力の向上が見込まれ、海外マーケットへの道も開かれることとなる。

現場の声



本事業の導入により、加工→塗装→乾燥→出荷までの工程においての作業動線がスムーズになり、効率よく業務が進行できるようになりました。職場環境を改善する「5S/整理、整頓、清掃、清潔、しつけ」にもつながり、業務に対する意識も向上しました。

COMPANY PROFILE



株式会社都村製作所

所在地 〒766-0004
香川県仲多度郡琴平町榎井590

TEL 0877-73-2251

設立 1893年2月

代表者 都村 尚志

業種 その他製造業

従業員数 70名

URL <https://www.tsumura-f.co.jp>

事業内容

公園施設設計・施工、遊器具製造、体育館内部施設設計・施工、体操器械器具製造、球技器械器具製造、緑化造園工事、電気工事設計・施工

主要設備

NC加工機、塗装機、複合加工機



代表取締役会長 都村 尚志

オリンピック開催に向け、私たちも全力でスポーツをサポートしていきたい。

弊社は明治26年の創業以来一貫して、体育器具、公園遊具の製造・販売・施工を手がけており、販路は北海道から沖縄まで全国に及んでいます。現在、日本のスポーツ界は2020年の東京オリンピックを目前に控え、スポーツ庁の発足、B.Leagueの開幕など、明るい話題が目白押しです。政府が策定した日本再興戦略2016のなかでも、現在5.5兆円といわれるスポーツ分野の市場規模を2025年までに15兆円に引き上げるといった計画が示されています。弊社もその波に乗り遅れることなく、マーケットの需要を捉えて成長していきたいと考えていますが、そのためには、営業、新製品開発、製造すべての面で、チャレンジングな目標を掲げ、努力し続けることが必要だと考えています。弊社としては、今後もスポーツ業界を縁の下でしっかりと支えてまいりたいと考えております。